

高美が丘中学校生徒の皆さんへ

図書館だより

きさらぎ
如月号



高美が丘中学校図書館
令和4年2月14日発行

春はもうすぐそこに

2月のこの時期は1年でもっとも寒い時期ですが、暦の上では2月3日の立春から春となり、さまざまな決まりごとや節目の基準になっています。3年生はいよいよ、受験シーズンの到来ですね。体調を万全に整え、乗り切ってほしいと思います。引き続き入試関連の本も常設しています。たくさん利用を待っています。

3年生の皆さんへ

最終貸出日 2月28日(月) 最終返却日 3月7日(月)

◆図書館を活用した授業がありました



2年生 国語 鯉節—「世界に誇る伝統食」

日本の伝統食について、図書資料とインターネットを使って調べ、レポートの作成をしました。学習の前に、学校司書が「パスファインダー」の活用について説明しました。



授業風景

今月のおススメ本 外国文学を選んでみました。海外で高い評価を受け、有名な賞を受賞した本が主に翻訳されています。以下の本はどれもおススメです。手に取ってみてください。

『青空のおこう』アレックス・シアラー/著 金原瑞人/訳 求龍堂

死んでしまった少年がこの世にゴーストとなって戻ってくる。最後に奇跡が起きて「あの世」に旅立ってゆく物語。

『負けないパティシエガール』ジョン・パウアー/著 灰島かり/訳 小学館

お菓子作りが好きなフォスターの夢はパティシエになること。しかし難読症のため読み書きができず、学校では落ちこぼれている。母親の恋人の暴力が原因で引っ越すことになったフォスターは、お菓子作りの腕を生かして新しい町の住人たちになじんでいく。深いコンプレックスを抱えた12歳の少女が「好き」を「生きる力」に変えて、周囲をも巻き込んで夢に向かって進んでいく物語。

『エリザベス女王のお針子』ケイト・ペニントン/著 柳井薫/訳 徳間書店

エリザベス女王が君臨する貴族社会だった16世紀イングランド。ある領主館に住むお針子メアリーは、館を訪れた領主の甥ローリーに、女王陛下に会うためのマントを作るよう命じられる。作業に没頭する彼女だったが、偶然国を揺るがす陰謀に巻き込まれ、館を出て行くことに。イギリス史に残る実在の人物も多数登場。ドレスや針仕事の描写がふんだんに散りばめられた美しい歴史物語。

『神さまの貨物』ジャン=クロード・グランベール/著 河野万里子/訳 ポプラ社

大きな暗い森に貧しい木こりの夫婦が住んでいました。ある日、森を走りぬける貨物列車の小窓が開き、雪のうえに赤ちゃんが投げられた。明日の见えない世界で、大人たちは託された命を守ろうとし…。(TRC 一部抜粋)

『ブロード街の12日間』デボラ・ホプキンソン/著 千葉茂樹/訳 あすなろ書房

19世紀末のロンドン。主人公の少年イールは両親を失い、ブロード街で貧しい生活を強いられる。その街に恐ろしい伝染病「青い恐怖」が襲いかかった。「青い恐怖」とは何なのか。イールはスノウ博士の助手として、博士の説を実証すべく、また新たな犠牲を増やさぬよう奔走する。混沌としたロンドンの下町で力強く生きる主人公が目の前に見えてくるようだ。史実に基づいた物語である。

『タイムライダーズ』既6巻 アレックス・スカロウ/著 金原瑞人 樋渡正人/訳 小学館

16歳の船員リアムは、タイタニック号の沈没寸前に救出され、別々の時代と場所から連れて来られた2人の少女とともに、時間の流れを監視するタイムライダーズに採用された。タイムトラベルが可能になった未来から来た誰かが歴史を変え、アメリカはナチスドイツに支配されていた。誰が、いつ、どこで過去を変えたのか。時間のゆがみを修正する戦いが始まる。